

## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月12日

上場会社名 株式会社JFLAホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3069 URL https://www.j-fla.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 檜垣 周作  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR・CSR室長 (氏名) 馬場 康尚 (TEL)03-6311-8892  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	62,423	37.7	803	—	519	—	781	—
2019年3月期第3四半期	45,341	45.6	60	—	△718	—	△716	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 912百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 △1,046百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	18.64	—
2019年3月期第3四半期	△19.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	60,321	11,572	18.4
2019年3月期	57,787	10,636	17.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 11,113百万円 2019年3月期 10,132百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	27.5	870	222.2	380	—	160	—	3.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	41,929,936株	2019年3月期	41,929,936株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	21,903株	2019年3月期	14,813株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	41,912,460株	2019年3月期3Q	37,029,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績や雇用環境を背景に、景気は底堅く推移しております。一方で海外情勢においては、米中の貿易摩擦や英国のEU離脱問題など先行き不透明な状況が続いており、今後の世界経済の減速リスクとして懸念されております。

食品及び食品生産業界においては、消費税率引き上げや相次ぐ自然災害が消費者心理に与える影響から節約志向が強まる中、原材料価格の上昇や物流コスト及び人件費の高騰など、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下で、当社グループは「食のバリューチェーンのグローバルリーディングカンパニー」を目指し、「既存ブランドの競争力強化と成長」、「ブランド・ポートフォリオの多様化」、「海外市場への進出」、「食品生産事業と六次産業化」の各課題へ積極的に取り組み、国内外において事業規模の拡充により、販売・流通・生産の3機能が相互に価値を発揮する事業ポートフォリオの構築に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、前期子会社化したジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社（以下「JFLA」と言います。）が通期貢献したことが主要因となり、62,423百万円（前年同四半期比37.7%増）となりました。営業利益は、前述のJFLAの通期貢献や、海外事業において不採算事業の整理を進めたことや、主要乳業各社において製品の価格改定が奏功したことが主要因となり、803百万円（前年同四半期は営業利益60百万円）となりました。経常利益は、持分法による投資損失が399百万円減少したことが主要因となり、519百万円（前年同四半期は経常損失718百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、関係会社株式売却益499百万円や負ののれん発生益302百万円の計上をした一方で、投資有価証券評価損461百万円を計上したことなどにより、781百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失716百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ① 販売

当第3四半期末の店舗数は843店舗（前年同四半期比17店舗の減少）となりました。内訳は、直営店216店舗（前年同四半期比12店舗の減少）、フランチャイズ店627店舗（前年同四半期比5店舗の減少）となります。株式会社アスラポートは、業務改善や経費見直しにより収益改善に努めましたが、焼肉「牛角」を除く店舗数の減少などが主要因となり、減収減益となりました。株式会社アルテゴは、タピオカドリンク事業「瑪蜜黛（モミトイ）」のエリアフランチャイズ権の譲渡や出店増が主要因となり、増収増益となりました。また、海外事業において不採算事業の整理を進めた結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は18,500百万円（前年同四半期比0.2%減）、営業利益は289百万円（前年同四半期比254.8%増）となりました。

#### ② 流通

株式会社アルカンは、業務用食材のフランス産フォアグラ・家禽類、冷凍パン「ブリドール」及びシャンパーニュ「ボランジェ」の売上増とユーロ安及び関税軽減による利益率向上が主要因により増収増益となりました。一方で、英国子会社は、英国のEU離脱問題の影響などにより減収減益となりました。業務用総合食品商社の東洋商事株式会社、中華食材等卸売のアンキッキ協栄株式会社などJFLAの子会社が増加したことにより、当第3四半期連結累計期間における売上高は17,047百万円（前年同四半期比122.0%増）、営業利益は103百万円（前年同四半期比32.7%減）となりました。

#### ③ 生産

九州乳業株式会社において、価格改定が寄与したことや、主要な問屋・量販店・ドラッグストア向け牛乳類、ヨーグルト、豆乳などの販売が引き続き好調であるため、増収増益となりました。茨城乳業株式会社も、価格改定が寄与したことや、前期発売したレアチーズヨーグルトや常温ゼリーの取り扱い企業の増加及びPBプリン、ヨーグルト類の販売が堅調に推移した結果、増収増益となりました。また、JFLAの子会社である食品類酒類メーカーの盛田株式会社などの通期貢献により、当第3四半期連結累計期間における売上高は26,828百万円（前年同四半期比40.4%増）、営業利益は667百万円（前年同四半期比30.4%増）となりました。

#### ④ その他

その他事業の内容といたしましては、店舗開発事業等による売上があり、当第3四半期連結累計期間における売上

高は47百万円（前年同四半期比131.8%増）、営業利益は23百万円（前年同四半期比93.0%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は60,321百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,533百万円増加いたしました。負債合計は、48,748百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,597百万円増加いたしました。

純資産合計は11,572百万円となり、前連結会計年度末と比べ935百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は18.4%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,684,745	6,528,642
受取手形及び売掛金	10,251,201	12,401,450
商品及び製品	4,138,656	4,294,219
仕掛品	2,300,411	2,080,838
原材料及び貯蔵品	1,134,659	1,223,599
その他	1,882,785	1,900,664
貸倒引当金	△259,224	△75,216
流動資産合計	27,133,235	28,354,198
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,460,438	10,130,239
その他(純額)	9,149,918	9,265,928
有形固定資産合計	18,610,356	19,396,168
無形固定資産		
のれん	5,946,358	5,396,089
その他	245,779	267,204
無形固定資産合計	6,192,138	5,663,293
投資その他の資産		
その他	7,469,472	8,550,566
貸倒引当金	△1,629,338	△1,651,887
投資その他の資産合計	5,840,134	6,898,679
固定資産合計	30,642,629	31,958,141
繰延資産	11,664	8,748
資産合計	57,787,528	60,321,088

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,924,068	8,506,486
短期借入金	13,759,848	15,159,000
1年内返済予定の長期借入金	4,638,159	4,309,665
未払法人税等	191,350	273,065
賞与引当金	76,500	102,297
店舗閉鎖損失引当金	6,830	13,749
その他	5,139,428	5,176,775
流動負債合計	30,736,187	33,541,040
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	10,430,001	9,438,784
債務保証損失引当金	65,570	64,841
退職給付に係る負債	902,236	824,658
資産除去債務	1,106,632	1,070,710
その他	3,109,928	3,008,509
固定負債合計	16,414,369	15,207,504
負債合計	47,150,556	48,748,544
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,910,363	2,910,363
資本剰余金	8,222,242	8,222,227
利益剰余金	△389,954	424,435
自己株式	△6,777	△9,602
株主資本合計	10,735,873	11,547,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△228,529	△22,155
為替換算調整勘定	△318,214	△334,745
退職給付に係る調整累計額	△56,562	△76,978
その他の包括利益累計額合計	△603,305	△433,879
新株予約権	6,680	2,840
非支配株主持分	497,724	456,160
純資産合計	10,636,972	11,572,543
負債純資産合計	57,787,528	60,321,088

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	45,341,364	62,423,718
売上原価	30,884,306	43,654,868
売上総利益	14,457,057	18,768,850
販売費及び一般管理費	14,396,946	17,965,641
営業利益	60,111	803,208
営業外収益		
受取利息	13,272	31,284
受取配当金	1,126	5,962
貸倒引当金戻入額	—	162,543
為替差益	43,456	—
その他	125,989	126,571
営業外収益合計	183,845	326,361
営業外費用		
支払利息	191,029	331,736
持分法による投資損失	417,139	17,247
その他	354,432	261,129
営業外費用合計	962,601	610,114
経常利益又は経常損失(△)	△718,645	519,456
特別利益		
固定資産売却益	20,203	1,828
関係会社株式売却益	—	499,139
段階取得に係る差益	160,086	—
負ののれん発生益	—	302,012
その他	226,760	282,066
特別利益合計	407,050	1,085,046
特別損失		
固定資産売却損	—	131
固定資産除却損	25,054	6,589
減損損失	124,758	12,025
投資有価証券評価損	—	461,635
その他	234,662	80,194
特別損失合計	384,474	560,576
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△696,069	1,043,925
法人税、住民税及び事業税	102,960	332,417
法人税等調整額	11,537	△25,026
法人税等合計	114,497	307,391
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△810,566	736,534
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△93,681	△44,823
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△716,884	781,357

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△810,566	736,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△124,187	206,421
為替換算調整勘定	△79,229	△12,754
退職給付に係る調整額	76,106	△20,416
持分法適用会社に対する持分相当額	△108,481	3,212
その他の包括利益合計	△235,791	176,462
四半期包括利益	△1,046,358	912,996
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△950,683	950,778
非支配株主に係る四半期包括利益	△95,674	△37,782

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。